

に富んだ存在であるよう、本年も引き続き北海道教育委員会、北海道教育研究所などで実施される研修に積極的に派遣するとともに、自主的・主体的な研修・研究などを奨励・支援し、一層の教職員の資質向上に努めてまいります。

### 特色ある教育の推進

各学校が地域の多様な教育資源を生かすとともに、創意に満ちた教育課程の編成と展開を図ることができるよう支援してまいります。

また、選択履修幅の拡大や複数教師によるきめ細かな教育活動を展開できるよう、学校の実態に即した少人数加配制度を活用してまいります。昨年から中学校の学習指導要領に位置付けられた和楽器については、日本古来の文化に触れ、豊かな心を養う学習活動として重要ですので、不足している和楽器の整備に取り組むとともに、『邦楽になれ親しむモデル事業』を展開してまいります。

### 学校図書館

児童生徒の読書離れが懸念される中、今年度より12学級以上の学校に司書教諭が配置されることとなりました。

児童生徒が、主体的に情報を収集・選択し、活用する能力を身に付けるためには、情報教育の充実とともに、学校図書館の機能の拡充が不可欠で

す。

このため、司書教諭が十分に活動できるよう、その基盤作りを目指し、国の緊急地域雇用対策事業を活用し各小学校に司書有資格者などを配置することとします。

### 学校の情報化推進

拠点となる市教育情報センターの態勢の強化を図るとともに、引き続き児童生徒、教職員に対するコンピュータ機器の整備を進めます。



ホームページづくりを学ぶ子どもたち（登別温泉小学校）

また、IT活用能力の向上を図るため、民間団体と連携して遠隔地授業やテレビ会議の仕組みについて共同研究を進めます。

### 登別温泉中学校の統合

今後とも同地区の生徒数の増加が

見込めないことから、適正な規模での学校教育を進めるため、地域や保護者のみなさんと話し合いを行い、平成16年度から登別中学校に統合することで了承をいただいたところであります。

今後、統合するにあたり、通学方法や同校の特色ある教育活動の継承、生徒間の事前交流などの課題解決に取り組んでまいります。

### 幼児教育

『年齢』や『保育に欠ける』要件などで子ども育成の場が区分されていることによる課題の解決に向け、市長部局と連携しながら、これまでの幼稚園・保育所という垣根を乗り越えて、それぞれが強い連携と可能な分野からの融合を図る『登別地区幼児一元化モデル事業』を進めてまいります。

また、登別市における今後の幼児教育の充実と創意ある取り組みを進めるため、幼児教育専門家や保護者、関係機関と連携して、『幼児教育の振興に関するプログラム』を策定します。

### 学校施設整備

懸案であった若草小学校の大規模改造と耐震補強の第一期工事に取り掛かることとしています。

また、登別小学校の水洗化、登別小学校の廊下補修とグラウンド整備、

富岸小学校の暖房設備と受水槽の改修などの施設整備に努めます。

### 社会教育

21世紀に入り、ますます進行する高度情報化や少子・高齢化、社会の成熟化などの潮流の中で、人々は、生涯にわたって『健やか』でいきいきと充実した人生をおくることのできる暮らしを求めています。

それは、単に物質的な豊かさや利便性の追求だけではなく、ゆつくりとした時間の流れの中で、『家族の絆』や『人と人のふれあい』を大切にすると暮らし、『自然と調和した中で自らの心と体の健康を大切にすると暮らし、あるいは、『芸術や文化に触れるとともに、自らその創造に取り組もうとする活動』などとして現れています。

教育委員会は、これら市民の新しい暮らしから生まれるさまざまな願いを受け止めるとともに、市民それぞれに合った学習ができるよう生涯学習社会の構築に取り組んでまいります。

また、『生涯学習人材ハンドブック』の活用やさまざまな媒体を活用した生涯学習情報の充実に努めるとともに、『マイプラン講座』や『ときめき大学』、『婦人短期大学』、『家庭教育学級』など市民が自ら主体的に学ぶことのできる機会の拡充に努めてまいります。